



Rotary International District 2650 Nara Japan
奈良大宮ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin

■創立：昭和54年1月23日 ■例会：毎週火曜日 17:30
■事務所：奈良市大宮町6丁目2-1 南都銀行大宮支店内 電話 0742-33-8583
■例会場：奈良市高畑町1096番地 奈良ホテル本館 電話 0742-26-3300(代)
■会長：矢追家麻呂 ■副会長：藤井正勝 幹事：石野捨雄



帝塚山短期大学 青山名誉教授

会長報告

- 第二回鵜尾の会会長・幹事会（新・旧合同）の議事録が届きましたので、後程皆さんに見て頂きます。
- 「いのちの電話」から、H22年度の報告とH23年度の計画書が届きました。これも併せて皆さんに見て頂きます。もし、例会終了までに見られなかったら事務局に預けてありますので、必要であればお申し出下さい。
- 生駒ロータリークラブが6月11日に35周年を迎えられます。お身内だけで行われるという事で、他のクラブからの招待はありません。クラブから祝電を打ちました。
- 東日本大震災の義援金の送金が6月16日に締切となります。6月14日の例会まで引き続きBOXを受付けに置いておきますので、どうぞよろしくお願い致します。
- 先週お話ししました「ならどっとFM時報CMの件」で、生駒RCから正式に書類が届きました。企画書の他にデモCDも同封されています。これは事務局にありますので、聞きたい方は事務局まで。また機会があれば例会で聞いてもらいたいと思います。本件は、費用が発生しますので、次週の理事会に諮りたいと思います。

委員会報告

出席委員会・藤野委員長

今週から情報集会が始まりました。これは、MUの対象となります。MUは（欠席の）前後2週間という規定があり、厳密には1日ずれてもいけませんので、その点に気を付けて頂くようお願い致します。

社会奉仕委員会・橋本委員長

6月16日の献血並びに義援金の協力は、東日本大震災の支援が目的です。義援金箱を設置しますので、これはメンバーの皆様全員に権利と言うか資格がありますので、出欠表に敢えて○の記入をして頂かなくて結構です。出欠表は献血できる方だと思っておいて下さい。本件はMU扱いとなっております。皆さん、義援箱に於いてはイコール、同じですので、その辺は宜しくお願い致します。

発行日／2011年6月7日
2010-2011/43

Vol.32
No. 1555

HP : <http://naraomiya-rc.jp>
E-mail : info@naraomiya-rc.jp

2010～11年度
第2650地区のテーマ

『ロータリーを良く学び、
変化を知り、
忘れたことを思い出そう』

国際ロータリー第2650地区
ガバナー 栗田 幸雄



四つのテスト

- 真実かどうか
- みんなに公平か
- 好意と友情を深めるか
- みんなのためになるかどうか

例会プログラム

第43回 6月7日
通算1555回

1. 開会の点鐘 17時30分
2. ソング
「君が代・奉仕の理想」
3. お客様の紹介
4. 会務報告
5. 卓話 高木 伸夫 会員
6. 閉会の点鐘 18時30分

例会状況報告

第42回 5月31日
通算1554回

R.C.は出席から 1554回

●会員数	69名
●出席免除者数	24名
●出席者数	48名
●補填者数	—
●出席率	80.0%

1552回の修正

●会員数	69名
●出席免除者数	24名
●出席者数	47名
●補填者数	7+1名
●出席率	87.0%

新規米山奨学生・張敏さんのご紹介（カウンセラー・谷川会員）

4月から米山奨学生となりました張敏（ちょうびん）さんのご紹介をさせていただきます。張さんは、中国瀋陽のご出身で、来日されたのは2004年10月。1年半大阪の語学学校で日本語を勉強された後、2006年から奈良女子大学に進学、2010年に同大学を卒業されてから生駒の奈良先端技術大学院大学に進学されました。卒業後は日本で就職されたいということで、現在就職活動も頑張っておられます。

張敏さんからご挨拶

この度米山奨学生として選ばれて、とても光栄に思います。有難うございます。私は高校生の時から日本語を勉強し、日本の文化と日本の発展した科学技術を学びたいという信念をもって2004年の10月に日本に参りました。そして1年半日本語学校で、日本語と理系の科目を勉強してから、奈良女子大学理学部化学科に進学しました。4年間科学を勉強してから、幅広い分野の知識を勉強したい気持ちを持って、奈良先端技術大学院大学物資創成科学研究科に進学し、現在は電子デバイスの勉強をしています。将来は日本で就職したいと思って、現在就職活動をしています。運良く一社から内定を頂きました。これからはロータリークラブのと絆を大切にしながら、日本の文化も触れながら色々と頑張っていきたいと思っていますので、宜しくお願い致します。



「奈良雑話」

帝塚山短期大学名誉教授（奈良学研究家） 青山茂氏

私は法学部を卒業後、新聞社に入社し、奈良で11年、それから大阪で16年勤めた後、帝塚山短期大学で新しい日本文化史という、奈良を中心とした仏教文化について勉強する科で教壇に立ち、30年余り過ごして参りました。研究室で勉強するのではなく、実地に色々な方々から、或いは奈良に遺された色々なものから教えを頂きました。本日は、折角奈良大宮RCの地元の偉大な存在でありながら、歴史の中では非常に虐げられたというか、正当な評価を受けずむしろ悪者のような評価で名を留めている、河辺隆光（即ち護持院隆光）のお話をさせていただきます。

河辺隆光は、大和、しかも奈良大宮RCのテリトリーの真ん中にあります超昇寺村（現在の佐紀町）出身であって、元禄宝永の頃には正に飛ぶ鳥を落とす勢いでした。しかし、後世の歴史においては、忠臣蔵の吉良上野介と同じ悪者の扱いを受けて、真言のその風上にもおけない祈祷僧であるというレッテルを貼られ、悪者に仕立て上げられました。しかし、焼失した大仏殿を江戸時代に誰が再建したかと言うと、この河辺隆光なのであります。

大仏殿は永禄の戦役のときに松永弾正久秀に焼かれてしまい、その後、織田信長の命により応急手当をしたものの、信長が本能寺であのような形で命を落とした為に資金が続かなくなり、数十年も露座のままで、本格的な修理ができませんでした。江戸時代になってそれを引き継いだのが、東大寺の公慶上人です。この方が大変苦勞をなさり、勸進を行い、市民から零細な金を集め、色々な奉仕の下に、元禄の東大寺の大仏の復興がなりました。従って元禄宝永の東大寺大仏の復興は公慶上人によるものだと、歴史書にも非常に詳しく書かれてありますが、実は、公慶上人は大仏殿の復興の折には体を悪くされ、江戸で亡くなられているのです。そのご

遺志を継がれたのが、護持院（将軍家の先祖代々の菩提寺）の一番偉い人であった河辺隆光なのです。再建にあたっては、当初、天平及び鎌倉・重源上人の復興のように間口11間（大きな柱の間）を基に復元する筈でしたが、将軍綱吉から、「財政難のため、天平と同じだけの金は遣わないで欲しい」と言われたものですから、儉約をし、11間（およそ間口100m程）あったものから左右2間ずつ縮めて、現在のような7間（60～70m）にしました。東大寺からはびた一文出させず、将軍家・幕府の直轄工事で、現在の大仏殿を再建したのです。大仏殿の大棟（おおむね）の上に高さ3m程、厚さ5cm程の大きな檜の板に、河辺隆光の功績が書き連ねて掲げてありました。それをこの前の大仏の修理の時に下に降ろして、現在は新しくできた金鐘文庫の中の一つの資料として保存されています。それには宝永6年の3～4月に落慶式をあげたと書かれてあります。その色々な差配、世話をしたのが、護持院隆光であると、自らの筆で書き残されています。

しかし、そんな護持院隆光の功績はあまり知られていません。歴史的事実と世間一般に言い伝えられていることが違うことが沢山在ります。元禄忠臣蔵のお話は皆さんよくご存知だと思います。吉良上野介は悪者であって、浅野内匠頭或いは大石内蔵助は善方であると決めつけられています。でも、元禄忠臣蔵というのは事件が起こってから半世紀も経った後で大阪の御堂筋で、芝居として演じられました。その中で、強欲な男として描かれ、炭小屋から醜く引き摺り出された高師直が、吉良上野介をモデルとしてあります。芝居がもてはやされ、歴史と芝居とを混同してしまい、間違ったイメージを植えつけられてしまったのです。元禄宝永の頃に、赤穂46人、47人が無体で吉良上野介の屋敷に討ち入り、主人を引き摺り出し首級をあげたという歴史的事実との間に区別がつかなくなったのです。

元禄忠臣蔵の大石内蔵助や、八代将軍吉宗等の人気に比べ、五代将軍綱吉は後々犬公方と呼ばれ、あまり幕閣の中で人気の良くなかったことに連動して、護持院隆光も人気を落としてしまった。それにより大仏殿の再建を始め、大和や全国の社寺の修理その他、現在の文化財行政に当たる実動を左右したと言われる大和出身の大変優れた護持院隆光のことは忘れよう、或いはあまり歴史の中でチヤホヤするのは止めよう、ということになってしまった。折角元禄復興の実をあげてもらった東大寺でさえも、河辺隆光という人の名前は半ばタブーでありました。しかし、今から10年近く前の大仏開眼1250年法要の際には、橋本聖園東大寺管長が、護持院隆光さんのことを「いままで偲んで供養しなかったことは東大寺の落ち度であった」ということで、隆光さんの祥月命日に当る6月7日には東大寺大仏殿の中に護持院隆光さんの肖像画を、二百数十年振りに、自らが復興した大仏殿の中に入って法要することになり、護持院隆光の復権に関し喧しく言ってきた私を慮ってか、私も参列させていただきました。

このように護持院隆光さんは大仏殿の復興を果たした訳ですが、これまた歴史の皮肉とも言うべきか、大仏殿が復興した宝永6年の1月10日に五代将軍綱吉は病の為、亡くなってしまいました。これにより綱吉の下で実際政治を壟断していた柳沢吉保、宗教政策の中で大いに力を奮っていた護持院隆光、これらが全部幕閣から一掃され、新しい体制となったのです。従って宝永6年の3月に大仏の落慶法要時には、隆光は幽閉され江戸留めとなってしまい、自分の弟子に落慶の引き出物を持たせる事しか出来ませんでした。ようやくその年の夏に故郷の超昇寺に送り返され、そのまま10年ほど蟄居の身を過ごし、とうとう享保9年夏に76歳で亡くなり、その歴史を閉じました。

東大寺の他にも、法隆寺の元禄修理の際には、五代将軍綱吉の母・桂昌院のお許しを得て、金一封を頂き、法隆寺の塔・金堂の修理を行いました。その塔と金堂のちょうど中間にある大きな“からかね”には、「元禄7年鑄造」であり、「桂昌院様から頂いたお金で鑄造した」と書かれてあります。春日大社でも、北側から上ってくれば左手に宝物館があり右手に寿月観が見えます。少し上ると、江戸時代の立派な社務所があります。これは、桂昌院が春日大社の為に、護持院隆光の勧めにより奉納されました。ですからこの建物は「桂昌殿」と呼ばれています。大和の古社寺の為に、力を尽くしてくれた隆光ですが、後々、天下の悪法「生類憐みの令」を制定した五代将軍・綱吉に繋がる悪僧であるというイメージの為、とうとう遺してくれた文化財・遺産について、多くの人は語らなくなってしまったのではないかと悔しい思いをしています。是非、奈良大宮RCの会員の皆様には、その地にゆかりの護持院隆光の正当な功績を、しっかりとご認識いただきたいと思います。

矢追家麻呂君 今日で5月も終りで、例年なら明日が衣替えの日ですが、今年は既にクールビズをされている所もあると思います。これから暑くなってしまうので、節電に努めながらも体調管理にはくれぐれも気を付けて下さい。

高野 治 君 青山先生、本日の卓話、大変楽しみにしております。

渡辺英孝 君 ニコニコボックスが淋しがっていますので、ニコニコ委員として協力します。

藤井正勝 君 ニコニコ協力

水野憲治 君 ニコニコ協力

例会変更

■☒五條ロータリークラブ ■

- ・☒6月22日(水)・・・定款第6条第1節Cにより休会。
※ビジター受付は同日、12:00~12:30南都銀行五条支店にて行います。
- ・☒6月29日(水)・・・最終例会の為、時間・場所変更。
時間:18:30~
場所:『明月』

※ビジター受付は同日、12:00~12:30南都銀行五条支店にて行います。

■☒奈良西ロータリークラブ ■

- ・☒6月16日(木)・・・年度末家族親睦移動例会の為。
※ビジター受付は、同日17:30~18:00奈良ロイヤルホテル1Fフロント横にて行います。

■☒あすかロータリークラブ ■

- ・☒6月9日(木)・・・奈良東RCとの合同夜間例会の為、時間変更。
時間:18:00~
場所:橿原ロイヤルホテル
※ビジター受付は、同日12:00~12:30まで橿原ロイヤルホテルフロント横にて行います。

本日のお客様

- ☒ 宮崎 彰夫 様(奈良RC)
- ☒ 張 敏 様(米山奨学生)

次週の例会 6月14日(火)

- ☒ クラブ協議会⑤